

豊かで 伸びやかに そしてたくましく



スカウト みやぎ

No.36

発行
日本ボーイスカウト宮城県連盟

発行日
平成26年7月1日

平成26年度 対前年度スカウト加盟員数増加達成団 仙台第1団の活動風景



**平成28年度ボーイスカウト全国大会
宮城県開催決定
平成28年5月28日～29日**

宮城県連盟年次総会開催

宮城県連盟事務局長 菅野 宏彦

5月11日、平成26年度の県連盟年次総会が岩沼市民会館を会場に開催されました。

当日、開会間際に「15分だけ顔を出させて頂きました」と、日本ボーイスカウト振興国会議員連盟副会長の井上義久様（衆議院議員）がご多忙の中おいでになり、開会前にご挨拶下さいました。

開会式では初めに村井連盟長の式辞を郷家副連盟長が代読致しました。次に年次表彰として16NJの準備訓練キャンプでご支援頂いた陸上自衛隊仙台駐屯地司令様と、その借用に対して御尽力頂いた佐藤源一様に感謝状を贈呈、そして富士章、菊章を取得した精励スカウトの表彰、また長年スカウト運動への功績の栄誉を称え、県連盟有功章、県連盟褒状の受章者をそれぞれ表彰致しました。また前年度スカウト数増加団の4ヶ団に対し褒状が授与されました。来賓祝辞は、ご来賓を代表して、生涯学習課副参事の鹿野田様が宮城県教育委員会教育長からの祝辞をご披露くださり、また日本ボーイスカウト振興国会議員の西村明宏様（衆議院議員）からもお祝いの言葉を頂戴いたしました。

総会は、菊池英喜議長（岩沼第1団・団委員長）の議事進行の下、5つの審議事項が、総会代表議員の方々の承認を頂き閉会しました。

最後に千葉県連盟コミッショナーより、先日の日本連盟の理事会において、平成28年度全国大会が宮城県で開催することが決定したとの報告がありました。これから2年後の開催に向けて村井連盟長（県知事）の下、指導者とスカウトがひとつになって宮城県開催を成功させるべく盛り上げて参ります様ご協力をお願い致します。



平成26年度県連盟表彰

県連盟褒状（精励スカウト）

富士章スカウト

No.2778 和田 悠佑（仙台第1団ベンチャースカウト隊）

No.3045 鈴木 麻夕（古川第1団ベンチャースカウト隊）

菊章スカウト

No.834 加藤 大和（石巻第6団ボーイスカウト隊）

No.835 尾形 凜太郎（仙台第28団ボーイスカウト隊）

No.836 宮本 優一（多賀城第2団ボーイスカウト隊）

No.837 牛澤 岳（多賀城第2団ボーイスカウト隊）

No.838 小野寺 海里（多賀城第2団ボーイスカウト隊）

No.839 富樫 佑丞（多賀城第2団ボーイスカウト隊）

No.840 浅見 茉那（仙台第1団ボーイスカウト隊）

No.841 浅見 茉友（仙台第1団ボーイスカウト隊）

No.842 鷺 瀬梨華（仙台第37団ボーイスカウト隊）

No.843 村越 未来（仙台第37団ボーイスカウト隊）

No.844 大場 寛己（仙台第37団ボーイスカウト隊）

No.845 加藤 裕樹（泉第2団ボーイスカウト隊）

No.846 荒木 風優香（泉第1団ボーイスカウト隊）

No.847 高橋 佑典（石巻第2団ボーイスカウト隊）

県連盟感謝状

陸上自衛隊仙台駐屯地司令

（平成25年開催の16NJの際、宮城県連盟派遣団の準備訓練実施に対し、野営場所をはじめとする多くの施設をご提供いただき、ご協力のもと所期の目的を達成することが出来た。）

佐藤 源一

（元ボーイスカウト塩釜第1団スカウト登録、元自衛隊隊員）

（平成25年開催の16NJの際、宮城県連盟派遣団の準備訓練実施地選定に対し、自衛隊駐屯地の借用について連絡・調整・便宜に尽力された。）

県連盟有功章

斎藤 政則（名取第1団CS副長）

小野寺 純（迫第1団CS副長）

県連盟褒状

久光 和明（古川第1団CS隊長）

県連盟褒状（団） 対前年度スカウト加盟員数増加達成団

仙 台第1団（団委員長 和田 岑生）

泉 第1団（団委員長 高山 雅光）

多賀城第2団（団委員長 松本 康男）

迫 第1団（団委員長 布施 孝之）

平成26年度日本ボーイスカウト宮城県連盟年次総会開催にあたって

新緑が芽吹き、木々の間を吹きわたる風が青葉の香りを運んでくる季節となりました。

本日、平成 26 年度日本ボーイスカウト宮城県連盟年次総会を挙行できますことを大変喜ばしく思います。

本日御参加の皆様には、宮城県のスカウト運動の普及・啓発のため、日々御尽力をいただいておりますことに感謝申し上げます。また、本日、表彰の栄に浴されます皆様には、献身的にスカウト運動を支えていただいておりますことに心から敬意を表します。

さて、東日本大震災から 3 年が経過し、今年は宮城県復興計画における「再生期」の初年度となります。県政を担う立場からも、市町村はもとより、企業や団体、NPO など多くの皆様と心をひとつにし、力を合わせて、震災からの創造的な復興と県土の発展のために力を尽くしてまいります。

昨年度、山口県で開催された第 16 回日本ジャンボリーに宮城県連盟は、スカウトや指導者総勢 124 名を派遣し、全国の仲間に、復興支援に対する感謝の気持ちをお伝えするとともに、困難を乗り越え力強く活動する姿をアピールしてまいりました。また、昨年末に県内スカウトをはじめ連盟関係者の表敬を受けた際には、それぞれの目標に向かって努力し、たくましく成長するスカウトの姿を拝見することができました。

来年の夏には、山口県を会場に、「第 23 回世界スカウトジャンボリー」の開催が予定されております。県内のスカウトが世界各国の仲間と交流を深める絶好の機会でもあります。来年の世界スカウトジャンボリーをひとつの目標に、今年 1 年スカウト及び指導者が志を新たに、参加に向けた体制を整え、スカウト活動をより充実させていかれるよう期待しております。

指導者の皆様におかれましては、宮城の復興を担い、日本の未来を切り拓いていく、心身ともにたくましい青少年の育成に引き続きお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本日御参会されましたボーイスカウト宮城県連盟の関係指導者、スカウト、そして御臨席いただきましたご来賓の皆様のますますの御健勝と御活躍を御祈念いたしまして、連盟長としてのメッセージといたします。

平成 26 年 5 月 11 日

日本ボーイスカウト宮城県連盟

連盟長 村井 嘉浩

平成28年度 ボーイスカウト全国大会 宮城県開催決定について

昨年、平成 28 年度全国大会開催の公募があり、当県連盟では『3.11 東日本大震災』から丁度 5 年目の区切りの年に当たり、震災発生当時から現在に至るまで県内各所に物的・人的支援をいただいた全国の盟友に対し御礼と現状報告を致したく、また、県内スカウティング発展の契機と地元県内の経済発展の少しでも助力になればと考え、更に一般市民、子供たちへも明日に向かった元気希望を見いだせるプログラムを提供しようと誘致活動してまいりました。

全国有志からの応援、岩手、福島をはじめとする北海道・東北ブロックの仲間たちの全面的な協力を得ることが出来、平成 28 年度の全国大会を宮城県にて開催されることが、正式決定されました。

宮城県連盟では、平成 28 年度の全国大会に向けスカウト活動を盛りあげるべく、様々なプログラムを企画実施していく予定ですので、加盟員の皆様のご協力をお願いします。

仙台子供まつりに参加

2014年5月25日、薄曇りで気温20度の中、仙台市副都心長町にある標高69mの台地で、花見でも有名な三神峯公園を会場に仙台市子ども祭りが開催されました。広場は整備され、メインに大会本部、両側に中央舞台と救護所を設置。前の円形の広場で午前10時太鼓 風雲乱打夢鳴る中、花火と共にイベントの数26、うちボーイスカウトは、モンキーブリッジ、ブラックボックス、関所破り、パラシュート(28

組織拡張広報委員 白根澤 健

団担当)の4イベントを企画開催されました。主催者発表で3000~4000人の親子連れで大変賑い、ボーイスカウトのイベントも終日長蛇の列で相変わらずの大人気でした。尚一般参加料金は100円(保険料含む)です。



白石市こどもまつりに参加



体験してもらうもので、親子あわせて約800人が集まりました。

第37回白石市こどもまつりが平成26年5月11日(日)白石市中央公民館で開催されました。このイベントは子供に関わる市内11団体が15種類の遊びを提供し

白石第1団ボーイスカウト隊 八巻 馨仁

この行事にボーイスカウト白石第一団も参加して、火を扱うコーナーを担当。焼きマシュマロを提供しました。普段炭火を扱う事の少ない子供たちに、ボーイ隊・ベンチャー隊中心に対応し好評を得ました。

またボーイスカウト体験入隊の申し込み受付コーナーも設け10名を超える希望がありました。今後スカウト仲間が増えることを期待しています。

各団・隊の活動

ボランティアキャンプ

ゴールデンウィーク後半の5月3~5日、南三陸町・歌津の泊崎に於いて友団の仙台27団ボーイ隊と共にリーダー・スカウト・保護者含め総勢36名でボランティアキャンプを行って来ました。

なぜ、歌津か?と言うと我が団のOBスカウトがこの地にてボランティア団体「TSUNAGARI」の代表理事を務めており多様な支援活動をしている事、またその中の一つに被災した地元の子供たちから「小さい時から遊んでいたこの海で泳ぎたい」との声があり、その子供たちと共に長須賀海水浴場の清掃活動をして昨年夏「つながりビーチ」としてオープンした事を知り、我々ボーイ隊も「今、自分達に出来る事」としてビーチ清掃奉仕をする事となりました。

5月3日、午前8時30分に中山にあるスカウトホールを出発し渋滞に巻き込まれながらもお昼過ぎに野営地到着。

今回の野営地は、地元の方の御厚意でグランドゴルフ場の一部をお借りし設営させていただきました。

この日のプログラムは、地元の子供たちとの交流と言う事で延べ10名の子供たちがキャンプ体験として参加して頂き、テント設営体験後、カレーライス作り、夜はキャンプファイヤーや花火をして賑やかに交流する事が出来ました。

翌日の午前プログラムは、ビーチ清掃奉仕!スコップで砂を掘り起こしてカゴに入れ、ふるってゴミを取り除

仙台第1団ボーイスカウト隊隊長 早坂 光男

くと言う根気のいる作業を行い、今年も海開きが出来る事を願いながらみんなで頑張っていました。

午後プログラムは、田東山ハイキングに出かけ山頂からの絶景を堪能して、夜プロは、近くのニュー泊崎荘にて入浴。午前・午後とも汗をかくプログラムだったので、とても爽快かつ癒されました。

最終日、撤営を前にお世話になったグランドゴルフ場に隣接している所有者様宅の周りを感謝の意を込め全員で草刈りをさせて頂きこの地を後にしました。

今回のキャンプを終えて振り返った時、震災直後からボランティア活動を展開していたローパー・ベンチャーの姿を聞いていた彼ら彼女らは、今回のテーマである「今、自分達に出来る事」として実際に自分自身の労力を使った体験が出来たのでとても充実した活動だったと思いますし、この夏は「つながりビーチ」で思いっきり遊びたいと思っているに違いありません。



指導者研修会

「平成26年度第1回ボーイスカウト講習会」を開催 組織拡張広報委員長 鈴木 美恵子

6月8日、仙台市泉区高森市民センターにて「平成26年度第1回ボーイスカウト講習会」が開催されました。ボーイスカウト講習会は、県内ではスカウトセミナーと呼ばれており、指導者定型訓練の導入となっています。参加者は仙台地区の他、東部地区、石巻地区から合わせて29名。今年度は県内であと3回開催されます。指導者・団委員をはじめ、保護者にもボーイスカウト運動について知る良い機会となっています。

当日は雨の降るあいにくの天候のため、ハイキングは館内で行いました。参加者は、4つの班に分かれて各ポイントの課題に真剣に取り組んでいました。講習会修了後「団に戻ったらお手伝いをしたい」という保護者もあり、その言葉をとても嬉しく聞きました。



スキルトレーニング研修会を開催

4月27日、名取市相互台公民館を会場に、シルバコンパスの使い方・座標読み・野帳の書き方の他、集散法や基本動作・国旗の扱い方など指導者のスキルを高める研修となりました。

ビーバー・カブ・ボーイ部門の隊指導者8名と参加者は少なかったのですが、研修修了者には、スキルトレーニングの「地図とコンパス」の項目について認証がされました。



仙台地区ユース会議が誕生

4月20日、18歳～25歳までのローバースカウト及び同年代の指導者が集う、仙台地区ユース会議（地区ユース）が設立されました。式典には新しく地区ユースとなった6名が出席、そして仙台地区役員と全国ローバース会議（RCJ）北海道東北ブロック代表運営委員の庄司さんも盛岡からわざわざお祝いに駆けつけてくださいました。厳粛な式典に加え、新ユースからは「地区ユース憲章」も発表され、今後の活躍が期待されます。



第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ）参加申込者追加募集 特別委員会委員長 村上佳司

6月上旬に23WSJ参加申込者の面接会を実施し、46名（スカウト34名、隊指導者4名、大会運営スタッフ8名）を日本連盟に推薦しました。ブロック内の参加申込スカウト見込数は159名と日本連盟割当数216名（6個隊）には57名が不足の状態です。つきましては、8月末まで参加者の追加募集を行いますので各団を通して県連までお申し込みをお願いします。また、指導者の交代参加についても日本連盟より詳細が届き次第お知らせしますので、大会運営スタッフ等の追加募集につきましても準備をお願いいたします。

1. 第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ）の概要

- （1）大会期間：2015年7月28日（火）～8月8日（土）12日間
- （2）会場：山口県山口市阿知須きらら浜
- （3）参加者：162の国・地域から約3万人（うち日本から6千人）

2. 日本派遣団参加者募集内容

- （1）派遣団：地域性を考慮した10の分団を編成。※A分団（東北6隊）、団長：入間 正智（青森県連盟コミッショナー）
- （2）参加費：一人当たり、参加費10万円＋「オペレーションきらら」1千円
- （3）派遣経費：参加費に加えて、一人当たり見込金額 約10万円（内訳①日本派遣団諸経費：見込み額約2万円（未確定）②ジャンボリー会場への往復交通費：約6万円（JR新幹線・未確定）③資材輸送費：見込み額5千円（日通・未確定）④参加隊準備訓練経費（未確定）および準備訓練会場への往復交通費等（未確定）⑤参加隊隊費（未確定））

～みんなの声を聞かせて①～

今回、子どもさんをボーイスカウトに参加させている保護者の方に「スカウト運動に参加させる動機」について聞いてみました。保護者のスカウト運動に対する期待、求めているものが見えてきます。

野外活動を体験させたかった。転勤で子どもも転校することがあるので、一人ではないんだよ、君には仲間がいるんだよと安心感を持たせたかった。

(石巻第6団BVS保護者 室伏由加里)

東日本大震災を機に、どのような環境のもとでも賢く、逞しく生きていける人になってほしいと思い、世界的活動をしているボーイスカウトを選びました。

(仙台第1団CS保護者 関澤学)

家族だけでは教える事が出来ない世界があること、団体行動・仲間づくりの楽しさ、大変さを教えてあげたかった。親も一緒に楽しみたい!

(泉第1団BVS保護者)

自己中心的な人間にならないように。社会、自然あらゆる出来事に対応できる人生を楽しめる人間になって欲しい。

(泉第2団保護者 加藤)

自分で決めて行動し、その結果に責任をとれる人になってほしい。また、私たち世代の女子は、男子の補佐的な仕事することが求められてきたが、これからは男女問わずリーダーシップの取れる人が先に立ち、世の中に貢献することが必要と考えるので、スカウト活動を通してリーダーシップをとれるようになってほしい。

(仙台第1団BVS・BS保護者)

引っ込み思案の性格を改善できればと思い参加させました。親だけではなかなか体験させられないことが体験でき、自ら行動を起こせるようになっていっていると思います。

(仙台第1団CS保護者)

いろいろな活動をさせ、友達(仲間)の輪を広げ、明るく元気に参加させたいと思ったため。

(名取第1団BS保護者 藤田浩二)

宮城県連盟ホームページのご案内

平成25年7月に、宮城県連盟のホームページをリニューアルして公開しました。

県内各地区・各団におけるスカウト活動の様子や、各種講習・イベント等のご案内、宮城県連盟からのお知らせ・事業報告などを掲載しています。また、『第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)』の県連盟情報も随時更新していますので是非ご覧ください。

ホームページのフォームからご意見・ご感想・お問い合わせもお受けしております。

ホームページURLは <http://www.scout-miyagi.jp/> です。

■ 編集後記

次号の発行予定は10月下旬となっています。

これからの季節は、スカウト活動が盛んになる時期。ホームページと連動して、スカウトたちの明るい笑顔、元気に活動している姿を紙面でご紹介したいと考えていますので、各隊・団および各地区の情報をぜひお寄せくださいね。(鈴木)

■発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟

■編集 宮城県連盟組織拡張広報委員会

委員長 鈴木 美恵子

委員 白根沢 健 小野寺 康 松本 康男
榛澤 達夫 小野寺 純 大沼 茂雄

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号

宮城県多賀城分庁舎内

TEL 022-355-6265/FAX 022-355-6267

ホームページ URL <http://www.scout-miyagi.jp/>